

新潟大学大学院特別講義 精神医学セミナー

「22q11コピー数変異：精神疾患に関与する遺伝子、細胞、分子の探索」
(22q11 Copy Number Variation: Search for genes, cells, and molecules for neurodevelopmental disorders)

- 講師: 廣井 昇 先生
(テキサス大学サンアントニオ健康科学センター 教授)
- 座長: 朴 秀賢 先生
(新潟大学大学院医歯学総合研究科 精神医学分野 教授)



廣井昇 先生

- 日時: 令和7年（2025年）7月23日（水） 17:00～18:00
- 会場: 新潟大学 医療人育成センター ホール（4F）

■ 概要:

ヒト染色体22q11.2欠損重複は知的障害、自閉スペクトラム症、統合失調症を高い頻度で引き起こす。我々のグループは過去25年以上にわたりマウスモデル、細胞モデルを使い精神疾患に機能的に寄与する遺伝子の同定と、遺伝子変異の組織、細胞に及ぼす影響の解析を手掛けてきた。この研究から22q11.2内にある転写因子TBX1の欠損がFimbriaのミエリン異常と扁桃体とその周辺皮質の縮小を齎し、Neonatal stem cellの増殖低下を通して、後の社会行動の発達に寄与することが分かってきた。本講演では、これらの最近のデータを議論する。

- 参加費: 無料・事前申込不要
- 主催: 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 精神医学分野
Tel: 025-227-2213
Email: jeg5414@med.Niigata-u.ac.jp